

高岡市民病院第Ⅳ期中期経営計画の点検・評価及び公表について

1 概要

- (1) 名称 高岡市民病院第Ⅳ期中期経営計画
 (2) 期間 平成26年度から平成30年度まで
 (3) 策定日 平成26年3月31日（平成29年3月31日改訂）

2 事業の実施状況の点検・評価・公表について

本院の医療の質の向上と経営改善への取組状況(進捗状況)については、「高岡市民病院経営懇話会」等で意見を求めながら点検・評価し、病院のホームページ等で広く市民に公表する。

3 点検・評価の概要

(1) 医療の質の向上

①急性期・高度医療の充実

項目	H28実績	目標値	評価
○全身麻酔による医療圏内シェア率	—%	23%以上	全身麻酔による手術の医療圏内シェア率は現時点で国から公表されていない。
○がんによる入院患者の医療圏内シェア率	25.5%	20%以上	がん医療の強化を進めた結果、本院でのがん入院患者が増加していることにより、目標値を上回った。今後は、放射線治療装置更新など、さらに、がん医療の強化を通じて、シェア率の増加を目指す。
○在宅復帰率	89.8%	80%以上	75歳以上の高齢者の入院が増加している中で、各病棟に退院支援担当者を配置し、入院早期から退院調整に入るなどしており、目標値を上回っている。

②安全・安心・納得の医療提供

項目	H28実績	目標値	評価
○退院後6週間以内の再入院率	3.4%	5.2%以下	入院初期から医療資源を積極的に投入するとともに、チーム医療を推進することで、目標を達成した。
○褥瘡発生率	1.75%	1.4%以下	高齢者の入院割合が増加する中で、褥瘡のリスクの高い傾向にある高齢者の発生が多くなったためと考えられ、医療の質の向上等に努めていきたい。
○転倒転落発生率	1.47‰	2.52‰以下	院内チームの取組みの効果により、目標値以下となった。

③地域に根差した医療の充実

項目	H28実績	目標値	評価
○紹介率	34.6%	50%以上	登録医療機関との連携の強化を進めるとともに、患者支援センターを設置し、逆紹介を推進する取り組みを進める中で、前年度より増加したが、地域医療支援病院の要件である目標値には到達しなかった。引き続き地域連携の強化を進めていく必要がある。
○逆紹介率	48.1%	70%以上	

(2) 経営の安定

項目	H28実績	計画値	評価
○医業収支比率	94.3%	94.5%	実入院患者数の増加や、緩和ケア病棟入院料の取得などによる医業収益の増の一方、調理員の減少による給与費の減少や、高度医療機器の減価償却終了に伴う減価償却費の減少などにより、経常費用は減少した。このため、経常収支比率は98.6%となり、前年度からは改善したものの、計画値を下回ることとなった。今後とも、医療の質の向上、経営改善にさらに取り組むことで、収支改善に努めていきたい。
○経常収支比率	98.6%	98.9%	
○材料費比率	23.3%	23.5%	
○実入院患者数	689人	677人	